



当法人原澄子さんから

「人生いろいろ…死に方もいろいろ…」と題し
経験に基づき、お話しがありました。no return
pointの捉え方や死に方は選べるのか?そして、
死にざまは生きざまと亡くなった方の名言も紹
介されていました。
皆さん真剣です。



3班に分かれてグループワークです。

今回、地域包括支援センター実習中の看護大学学生さんと教員の先生も参加されました。

もしばなカードゲームで大いに盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。

以下感想の一部です。

※もしばなゲームは自己の考えを再認識するのに役立った。自分らしく、死、最期を見つめていきたい。

死について考える良い機会となりました。もしばなゲームで色々もっと考えたいこと、考えなければならないこと、沢山あることを実感しました。



今回は医療機関で経験豊富な当法人理事の話しと、もしばなカードゲームで「死」について考える時間を取りました。「死」は重いテーマですが、必ず誰も迎えます。その時にどこで、誰と、どう過ごしたいのか?等々。遠い話しではないかもしれませんが、どんなに言葉で残していても、その通りにならないかもしれません。しかし、周りに公言する事でその方らしく最期が迎えられる可能性は高くなると思います。当法人では住み慣れた地域で住み慣れた家で最期まで暮らしたいという思いを支えたいと思っています。このワークショップは今回で終了しますが、いつでも連絡いただければご相談に対応致します。また、地域には心強い専門職の仲間もいます。今回のワークショップで顔見知りになった専門職の皆さんに遠慮せず連絡してみてください。きっと力になっていただけるでしょう。

1年間ありがとうございました。

一般社団法人あゆ実 小牧

2023年度 顔の見える関係作り 「人生会議、はじめの一步」総合編 2月15日(木)

研修のまとめ

参加人数 15名 訪問看護ステーション1名 地域包括支援センター2名 ケアマネ1名 講師1名
アンケート回収13名

性別 男性4名 女性11名

年齢 20代 2名 30代 0名 40代 2名 50代 5名 60代 2名 70代 4名 80代 0名

参加理由

- ・お誘いを受けて
- ・いつもお世話になっている
- ・依頼があったため
- ・学生の実習の一貫として、経験(参加)させて頂きました。
- ・これからの課題かな～という興味・関心から
- ・3日後に75歳の後期高齢となり、そろそろ老人ホーム、ホスピス etc を考慮か?

参加回数

初回6名 2回目2名 3回目3名 4回目0名 5回目2名

満足度

80%4名 90%3名 100% 5名 無回答1名

平均90.8%

満足度の理由

無回答 1名

- ・もしばなゲームで、色々もっと考えたいこと、考えなければならないこと、沢山あることを実感しました。
- ・他の参加者と意見交換する機会があり、色々な意見を知ることができたのがよかったです。
- ・普段関わる年齢の方ではないため、色々な話を聞けて良かったです。
- ・日頃思っていることを言葉にすることが大切なのかなぁと思いました。
- ・いい機会になった。
- ・初めてでよくわからなかった感じがします。
- ・講義がすごく充実した内容でした。
- ・死について参加者の考え、思いを知ることができた。
- ・死は誰にでも来る。タブー視するべきでは無いの言葉
- ・いつも、勉強になり、ありがとうございました。
- ・親族や自分の死、最期を考えさせられた。
- ・死について、先生の考え方が響きました。

心に残っている言葉

- ・無回答3名
- ・人生いろいろ生きざまもいろいろ 本当にその通りです。

- ・更生週末点
- ・最後の演出⇒今の状況で自分にできるのか?
- ・最終的に死に方は選べない→が・・・今出来る事を今しておく。
- ・相手に負担にならないようにしたい。
- ・亡くなる前だけではなく、亡くなった後でも「誰かの役に立つ」ことが出来ると言われたこと。
- ・原氏のお話
- ・高齢者より若者の育成を
- ・死をタブー視せず、気軽に考えましょう。
- ・今できることは今する

困りごと

- ・無回答 10名
- ・母の介護
- ・利用者さんとの死生観の違いでのよりそいかた
- ・どこで死ぬか?自宅、老人ホーム、ホスピス?

希望のテーマ

- ・無回答 12名
- ・認知症について

感想 ・無回答 5

- ・今回で最後、残念です。ありがとうございました。
- ・自分らしく、死・最後を見つめていきたい。
- ・もしばなゲームは自己の考えを再認識するのに役だった。
- ・原先生のお話しがわかりやすく、経験にもとづいた内容を知ることができ勉強になりました。
- ・もしばなゲームを行う度に自分の価値観をみつめ直せます。
- ・緩和病院ですごした親族やいつか入るかもしれないので、考える時間になった。
- ・死について考える良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・共感できる内容だったので楽しかった。